

【取組内容④】クラウドをフル活用した校務の実践（校内研修編）

授業前

研修の当日の流れや指導案等をクラウド上（Teamsの投稿）で配布することで共有している。

【メリット】

- ・ペーパーレスで、印刷や配布する時間が短縮できる。
- ・リンク先を示すことで多くの情報を容易に共有できる。
- ・指導案検討を、Teamsのチャット機能やWordのコメントなどを活用して、共同編集しながらできる。
- ・写真や動画等も共有しやすく、アナログでは伝わりにくかったことも容易に伝えやすくなる。

授業後

デジタルふせん（PowerPoint、Jamboard、フリーボード等）で協議会を行い、協議会後の研修では1人1シートのスライドツール（PowerPoint等）でアウトプットしながら参加し、他者参照も行うことで相互に学び合うスタイルにしている。

【メリット】

- ・互いの意見や疑問、考えなどが瞬時に共有できる。
- ・アウトプットしながらの参加により、主体的な研修となる。
- ・他者参照、途中参照により、互いの学びを共有できる。
- ・コメント機能で相互啓発につながられる。

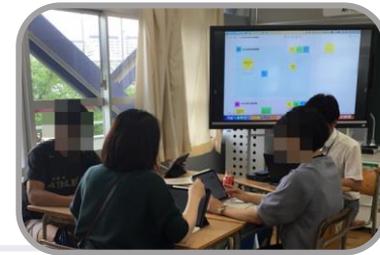
校内Teamsの投稿画面



他の人のスライドをいつでも参照できる

授業後の研修会の様子

協議会のデジタルふせん、1人1スライドでアウトプット



9/28 リーディングDX研修 名前 () (

- ・生徒の意見の広がりが出るのは、課題づくりで決まる
- ・発問の工夫
例：バスの運転手 どこを見て →前、道、ミラー etc…
良い授業を構成するために、仕掛け作りを気にかけることが重要
身近なものはその仕掛け作りに有効的にはたらく。
- ・教材研究で大きく決まる →どのようにな何を教えるか
iPadを使うことが目的になると△

